

|         |                                                                                                                                                                                                                               |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 氏 名     | 大林 由佳                                                                                                                                                                                                                         |
| 授与した学位  | 博 士                                                                                                                                                                                                                           |
| 専攻分野の名称 | 医 学                                                                                                                                                                                                                           |
| 学位授与番号  | 博 甲第 6306 号                                                                                                                                                                                                                   |
| 学位授与の日付 | 2021 年 3 月 25 日                                                                                                                                                                                                               |
| 学位授与の要件 | 医歯薬学総合研究科 病態制御科学専攻<br>(学位規則第 4 条第 1 項該当)                                                                                                                                                                                      |
| 学位論文題目  | Risk factors for gastric cancer after eradication of <i>Helicobacter pylori</i> evaluated based on the background gastric mucosa : a propensity score-matched case-control study<br>(背景胃粘膜からみた除菌後胃癌リスク因子の検討:プロペンシティブスコアマッチング) |
| 論文審査委員  | 教授 藤原俊義      教授 吉野 正      教授 田端雅弘                                                                                                                                                                                             |

#### 学位論文内容の要旨

近年、*Helicobacter pylori*(以下 HP)除菌後も胃癌の発生を完全に抑制できるわけではないことが知られている。我々は背景胃粘膜の組織学的特徴から除菌後早期胃癌発症におけるリスク因子について検討を行った。

HP 除菌成功後に当院で ESD を施行した患者 61 名を除菌後胃癌群 (A 群) とし、HP 除菌成功後、少なくとも 3 年以上胃腫瘍を発生しなかった患者 122 名を対照群 (B 群) とした。交絡因子の影響を減らすために、年齢・性別・除菌後年数において propensity score を用いて 2 群間のマッチングを行い、A 群と B 群の背景胃粘膜における組織学的所見を比較した。組織学的評価には Updated Sydney System に準じて前庭部大彎、体部小彎、体部大彎 3 点における生検を用いた。その結果、3 点すべての部位で A 群は B 群と比較し、単核球浸潤が有意に高値であった。多変量解析では、前庭部大彎・体部小彎の単核球浸潤は独立したリスク因子であった。背景胃粘膜における持続的な単核球浸潤高値は除菌後胃癌発症のリスク因子となる可能性がある。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、*Helicobacter pylori* (HP) 除菌後の胃癌発生に関するリスク因子を探索するために、HP 除菌後に早期胃癌発症し内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 施行した症例と HP 除菌後 3 年以上胃癌発症しなかった症例をプロペンシティブスコアマッチングの手法を用いて比較検討した後方視的臨床研究である。

HP 除菌後に ESD 施行した 61 例 (A 群) と HP 除菌後に胃癌発症を認めない 122 例 (B 群) を対象としたところ、年齢、性別、除菌後年数において群間の偏りがみられたため、プロペンシティブスコアマッチングを行い背景胃粘膜の組織学的所見を比較した。その結果、A 群は B 群に比して単核球浸潤が有意に高値であるとの結果が得られた。多変量解析でも、前庭部大彎、胃体部小彎の単核球浸潤は独立した胃癌発症のリスク因子であった。

委員からは、除菌後の評価のタイミングや単核球を同定する免疫染色の抗体などの質問が出たが、いずれにも適切な回答が得られていた。

本研究は、HP 除菌後の背景胃粘膜における単核球浸潤が早期胃癌発症のリスク因子であることを示した点で、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。